

# 壁歌は語る

(昭和三十七年寮歌)

執行洋視君 作歌  
助川秀三郎君 作曲

## 一

壁歌は語る幾星霜

あつまさんわこうど

集り散ず若人が

夜々に語つたる苦悩の記

ひびのひに語つたる歓喜の記

ああその意気は永遠に栄えん

## 二

壁歌は続く百年に

美辞をば嫌いし若人が

好機に変えたる時流の言

好機に乗りし時流の波

ああその思出いつか崩れん

## 三

壁歌は残る千代に

日夜ひもとき探索に

我が捨てたる邪道よ

我が容れたる真理よ

ああその純情後に偲ばん